

よしみまがかい



こども食堂で笑顔いっぱい

3号

2024.2

No.170

5年12月定例会
5年12月臨時会

- 修正動議 P 2 ~
- 臨時会 再議 P 4 ~
- 定例会の主な議案内容 P 6 ~
- 二十歳の集いインタビュー P10・11
- 一般質問に10名登壇 P14 ~



給食センター

議案

73

議会

初

主な歳入

(1万円未満切り捨て)

○ふるさと納税寄附金	1億円
○財政調整基金繰入金	1634万円

主な歳出

(1万円未満切り捨て)

○ふるさと納税推進事業	4922万円
○ふるさと納税基金積立金	5000万円
債務負担行為補正 給食センター運営事業費	1億9700万円

修正案提出者

杉田議員・小宮議員・宮崎議員・岩崎議員
新井議員・吉田議員・福田議員・福井議員

修正案提出理由

「令和6年4月からの委託は時期尚早」という点で一致する議員が共同で予算修正し、賛否が拮抗している給食センター債務負担行為補正を削除して可決することで、町民のみなさんへの影響を回避するため。

主な質疑

問

給食センター会計年度任用職員の調理員の勤続年数と調理師や栄養士の有資格者の人数は。

答

約2年から32年。調理師6名、栄養士2名。

予算が可決した場合、プロポーザル方式での委託業者の選定は間に合うのか。

間に合うように入札事務の手続きを進める。

予算否決の場合の対応はどう考えているか。

給食の安定提供のため、教育委員会で決定した民間委託の基本方針のもと取り組む。

職員の雇用は確保されると認識してよいか。

特別な事情が発生しない限り、委託期間の雇用が確保されるよう入札の際に配慮する予定。

議員

提出者

一部民間委託中止を

賛成多数
可決

一般会計補正予算（案）を修正可決

原案賛成・修正案反対 大野 陽康議員

社会が激しく変化を続けている中であって、多くの自治体で地方行政サービスを効率的・効果的に提供するために、民間への業務委託を急速に進めている。これは学校給食の分野に限らず多くの業務の部分で当てはまるのが総務省の資料からも吉見町の実態からも明らかである。私たちが見据えなければならないのはこれから先のことである。未来の可能性を失うことにならないよう、今、何をしなければならないのかを考えて判断・行動する必要がある。

原案反対・修正案賛成 福井 学議員

高度経済成長とベビーブームのなか、給食を食べて育つ児童生徒は増え、作る人がそれを支えた。社会の拡大局面はそれでよかった。戦争を経験した人も多く、誰もが満足に食べられる社会を望んだ。いま考えなければならないのは、給食を今後も持続可能な形で続ける、その一点に尽きる。年間に30人程度ずつ吉見町の児童生徒が減少しており、労働人口の減少を考えあわせると、調理と運搬を見直し、民間委託によって給食の持続可能な道を探ることは子や孫への責任と考える。

原案賛成・修正案反対 公明党 秋山 真美議員

議会には9月、給食センターでは10月に、同じ資料が配布され説明されている。執行部の説明で、会計年度任用職員について、今の待遇を下回らない、今いる人を雇うことが確認できている。学校給食調理では、これまでの経験で蓄積した技、熟練が重要とされ、民間委託後も現在の調理員の方々が働き続けてもらえることが最大の安全安心につながる。労務管理の一任、業務の効率化が図れる基本方針に則った民間委託を進めるべきと考える。

原案反対・修正案賛成 杉田 しのぶ議員

9月の議員に対する説明では、令和6年度中の4月もしくは9月に民間委託をしていきたいとのことだった。現場で働く調理員の皆さんは誰一人として賛成していない状況下で、なぜ委託時期を4月にしたのか大いに疑問。

説明して納得させるのは議員ではなく、現場の調理員である。現場の不安が解消されないまま令和6年4月から民間委託を進めるための補正予算は認められない。宮崎町政を応援しているからこそこういう進め方はしてほしくない。

Q 予算修正動議とは？

A 町長から提出された議案に対して、議員が必要に応じて修正し、議員提案すること。
議員定数の1/12以上の発議者をもって提出するもの。

Q なぜ、一部民間委託にするの？

A P.15の一般質問をご覧ください。

* 吉見町学校給食センター調理業務等民間委託基本方針の内容はこちら▶



12月臨時会が、12月18日（月）に行われました。
 12月8日（金）に令和5年度一般会計補正予算（第5号）が、修正可決されたことにより、町長から法律の規定により再議書が提出されました。この再議書により令和5年度一般会計補正予算（第5号）が再審議となりました。結果、修正案が否決となり、原案が可決されました。

町長が修正予算に対し再議を 給食センター

再議理由(抜粋)

再議全文はこちら



第六次吉見町総合振興計画の将来像である『未来へつなぐみんなで安心して暮らせる町よしみ—20年先の種まき—』として「吉見町の子どもたちのため、安全安心な給食を将来にわたり安定して提供する」との思いを予算化したものであり、修正削除すべきものではなく、今やるべき。令和6年4月1日から開始することが最善と考える。

主な質疑

問

民間委託基本方針で「会計年度任用職員の確保に苦慮している状況が続いている」とあるが、過去7年で募集は2回。現状欠員もない。誤った表現でないか。

民間委託基本方針では「職員の人事管理や労務管理の事務が負担」とあるが、具体的には何か。

有給休暇や病休で休みになった場合、調理員の代理出勤が認められず、その代わりに所長が調理現場に入っている現状があるようだがいかがか。

民間委託後は、調理員が行う作業に、栄養教諭が直接指示を行うと偽装請負になる可能性があるという認識だがいかがか。

委託業者の選定方法をプロポーザル方式に決定した理由は。

給食調理など委託に関して業者選定にプロポーザル方式の採用は多いのか。

民間委託にしたが見直して、公営に戻した自治体もある。町の受け止めは。

委託後に検証し、かつ給食運営委員会や議会に情報公開するか。

答

令和5年度は15人の調理員が働いているが、募集をかけても15人の応募しかない。過去を振り返っても今働いている方以外の応募がない。

人員が集まらない中での募集や調理員、配送員16名いるが、それらの方々へのさまざまな対応含め民間委託することにより解決できると考えている。

急な休みの対応として所長が自ら現場に入って対応したり、場合によっては教育委員会から手伝いにいくこともある。現場の判断で対応している。

契約上、直接指示、命令は出せない形になっている。

特殊で専門性を要する業務であることから、通常の競争原理や金額による入札方法ではなく、プロポーザル方式を基本方針で決定している。

多くの自治体で採用していると認識している。

事例を調査研究する。

その予定でいる。方針で決定している。

議員

提出者

審議の流れ

修正予算再採決



賛成8：反対6で否決

原案可決

修正案2/3届かず

一部民間委託予算

再議とは

町長が議会の議決に異議がある場合、法に基づき再度の審議および議決を求めること。
議長を含む出席議員の2/3以上の賛成がないと修正予算は否決となる。

原案反対・修正案賛成 吉田 克之議員

9月定例会の全員協議会で、民間委託基本方針が説明されてからわずか3か月。12月定例会でその経費を計上した一般会計補正予算の議案が提出されたが、修正議決された。再議してまで、そんなに急ぐ必要があるのか。
会計年度任用職員も理解していない状況なので、時間をかけて説明してほしい。

原案賛成・修正案反対 福井 学議員

給食は毎日献立が変わり、量が多いにもかかわらず手早い調理が求められることから、工場で生産される食品のような合理化は一定程度しか望めない。公営が民間委託に変わると、それは同じ。栄養教諭と調理員の協力なくして、調理方法の承継と技術の蓄積はできない。さらに、民間委託が課題すべてを解決するわけではなく、いかなる公共サービスも、振り返りと町民の声を抜きにしては成り立たない。民間委託は賛成だが、町には公共サービスの向上を今後も不断に目指す責務がある。

原案反対・修正案賛成 杉田 しのぶ議員

誤った現状認識の上で、吉見町学校給食センター民間委託等基本方針が決定されたこと自体大きな問題。
労務管理の問題は、現状でも代理出勤を認めれば対応可能な人員体制にある。
調理業務を民間委託すれば、法的に栄養教諭、調理員のチームワークが切り離されることにもなる。
募集の方法、給食調理の継承への対策は、まず現場の声を聞き、民間委託も含め率直な意見交換をすべき。
課題解消に向け十分な意見交換もされずに民間委託を強行することは認められない。

原案反対・修正案賛成 日本共産党 福田 妙子議員

12月定例会において、学校給食センター調理業務等民間委託にかかる経費、令和5年度から8年度までの1億9710万円を令和5年度吉見町一般会計補正予算（第5号）から削除する修正案に賛成した。
会計年度任用職員の雇用不安を解消することを望み、令和6年4月1日から民間委託すること、また、この計画の中止を求める立場から、令和5年度吉見町一般会計補正予算（第5号）の原案に反対。

原案反対・修正案賛成 令和の会 宮崎 雄一議員

会計年度任用職員への民間委託の説明は、令和5年10月11日・12日であった。職員に対する説明はあまりにも拙速すぎる。1年から2年前に説明すべきである。担当課では全員が雇用されるよう業者をお願いしていくと説明があったが、職員の方々も身の振り方には、一定期間の時間が必要と思われる。
長年に渡り調理等に携わった方々の労いに対し、半年あまりの時間では、非情としか思えない。

議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	参照	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	秋山	尾崎	岩崎	宮崎	杉田	小宮	神田
再議	令和5年度吉見町一般会計補正予算（第5号）修正案	P4・5	否決	×	×	●	●	×	●	×	×	×	●	●	●	●	●
議案第73号	令和5年度吉見町一般会計補正予算（第5号）	P2～5	可決	●	●	×	●	●	×	●	●	●	×	×	×	×	議

修正前の補正予算採決

賛成7：反対6で可決

12月定例会

12月定例会は、12月5日（火）から12月8日（金）までの4日間の会期で行われました。条例の制定と改正、請負変更契約、令和5年度一般会計、特別会計等補正予算など16議案が上程され、15議案が可決、1議案が修正可決されました。

主/な/議/案/の/内/容 ※質疑等があった議案を掲載しています。

議案

64

ふるさと納税していただいた寄附金のうち、経費等を差し引いた残りの額を基金に積み立てる

賛成
全員

主な質疑

問

使い道が指定された7項目は、どのように管理していくのか。

答

それぞれの項目ごとに寄附額を把握しているのので、その項目に対する事業に活用していく。

年度途中であっても、ふるさと納税の活用が十分図れるような管理を求めたいかがが。

寄附金を基金に積み立て、増やしていくことが目的ではなく、一定額を基金として管理し、有効な活用方法を検討していく。

ふるさと納税で寄附を頂いたことにより、新たな財源として、新たな事業に活用することを求めるのがいかが。

寄附者の想いを6つのライフステージと町長にお任せという希望を確認しているので、それぞれの事業に沿って効果的に活用していきたい。

ふるさと納税の寄附者が選んだ使い道は。

令和4年の状況。
寄附額2億175万3千円の内訳

- (1) 結婚・出産・妊娠支援、母子保健の充実、子育て支援など 31.7% 6391万3千円
- (2) 学校教育の充実、学びやスポーツの「場」の整備 など 7.6% 1535万2千円
- (3) 企業誘致、就労支援、商工業・農業・観光の振興など 2.9% 585万3千円
- (4) 公共交通の充実、インフラ整備、介護・福祉の充実、防災や防犯など 4.7% 956万2千円
- (5) 情報発信の充実、町の知名度向上、特産品の充実など 2.2% 445万4千円
- (6) 自然や風景の保全、歴史や伝統の継承、人権や平和の意識づくりなど 5.2% 1049万円
- (7) 町長におまかせ 45.7% 9212万9千円

議員

提出者



一般職職員のR5年の冬の期末手当 0.1月引上げ
 初任給の引上げ 大学卒 19万1700円 ⇒ 20万2400円
 短大卒 17万5300円 ⇒ 18万7300円
 高校卒 16万4100円 ⇒ 17万6100円

主な質疑

問

期末手当が支給されている会計年度任用職員はどれくらいいるのか。

答

フルタイム会計年度任用職員が16人。パートタイム会計年度任用職員が89人。全体の約83%。

令和5年5月の法改正で、会計年度任用職員にも勤勉手当の支給が可能となったが、吉見町の対応は。

法改正により令和6年度から会計年度任用職員への勤勉手当の支給が法律上可能となったため、必要な対応を検討している。

令和6年4月～勤勉手当が支給対象となった場合、令和6年6月には会計年度任用職員も支給されるのか。

支給の規定が整った場合、支給の対象となる。

議員

提出者

町長、副町長、教育長のR5年の冬の期末手当 0.1月引上げ
 引上げ額 町長 8万3040円 副町長 7万1640円 教育長 6万7840円

主な質疑

問

町の財政状況は。

答

健全化判断比率からは問題ない。基金も計画的な積み立てを行っている。町の財政状況は、健全な財政基盤が維持され、財政規律も堅持されている。

令和5年度の三役の仕事量は。

コロナ禍前のような状況、ここ数年と比べると仕事量は元に戻っている。土、日のイベントなどもあるため、確実に増えている。

期末手当の引き上げを行う理由は。

吉見町のように独自の人事委員会を持たない自治体は、基礎となる数字を自前で調査するのは困難。一般職職員の支給月数を基本としているため、上がった、下がったりするが、今回は引き上げとなる。

議員

提出者

町議会議員のR5年の冬の期末手当 0.1月引上げ
 引上げ額 議長 3万6840円 副議長 2万9640円
 委員長 2万9040円 副委員長 2万7840円 議員 2万7600円

主な質疑

問

令和2年、令和3年は期末手当の引き下げが行われ、令和4年、令和5年は引き上げになっているが、過去5年間の推移は。

答

令和5年度の支給月数は4.5月。令和4年度が4.4月。令和3年度が4.3月。令和2年度が4.45月。令和元年度が4.5月ということで、今回の引き上げで令和元年度の水準に戻った。

議員

提出者

主な質疑

問 健康保険証で確認している内容と連携する内容に違いはあるのか。

答 それぞれの事務において確認する内容に違いが生じるものではない。



町民の負担軽減のためとの説明だが内容は。



住民関係情報など申請に必要とされていた各種証明書等の添付が不要となる。

一 部 事 務 組 合 報 告

一部事務組合とは、複数の地方公共団体などが行政サービスの一部を共同で行うことを目的に設置する組織。吉見町は3つの一部事務組合に参加しています。

埼玉中部環境保全組合議会定例会
ごみ処理(可燃、粗大)

秋山 真美 議員

日時 令和5年10月18日(水) 午前9時から
場所 埼玉中部環境センター議場
出席議員 秋山真美 杉田しのぶ 宮崎雄一 尾崎豊

令和5年4月～令和5年9月の搬入量

	組合全体	吉見町
可燃ごみ	17159.62 t (前年比882.89 t 減)	1711.99 t (前年比126.44 t 減)
粗大ごみ	737.47 t (前年比57.13 t 減)	99.31 t (前年比9.65 t 減)
合計	17897.09 t (前年比940.02 t 減)	1811.30 t (前年比136.09 t 減)

付議された主な議案

○議案第12号 令和4年度一般会計決算認定
歳入決算額は8億5810万994円、歳出決算額は8億2224万744円、差引残額は3586万250円です。
上程された2議案は、いずれも原案のとおり可決、認定されました。

北本地区衛生組合議会臨時会
し尿処理

秋山 真美 議員

日時 令和5年11月1日(水) 午前9時から
場所 北本地区衛生組合議場
出席議員 神田隆 尾崎豊 秋山真美

令和5年1月～令和5年9月の搬入量

	組合全体	吉見町
	20519.77 kℓ	4049.47 kℓ
前年比	38.87kℓ (0.2%減)	199.43kℓ (4.7%減)

付議された議案

○議案第11号 令和5年度一般会計補正予算(第1号)
既定の予算額に2800万7千円を追加し、予算総額を4億3680万7千円とするものです。
上程された1議案は、原案のとおり可決されました。

定例会のお知らせ

吉見町議会 3月定例会

詳しいことは、町議会事務局までお問い合わせください。
TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)

2月29日(木)から
開催される予定です。

ライブ配信または録画配信は、このQRコードを読み込んで、ご覧ください。



議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	参照	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	秋山	尾崎	岩崎	宮崎	杉田	小宮	神田
議案第64号	吉見町ふるさと納税基金条例 ふるさと納税による寄附金を積み立てるため、規定の整備をするもの	P6	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第65号	吉見町職員定数条例の一部を改正する条例 新たな行政課題への対応と、既存業務の見直しにともない、職員定数を変更するため、規定の整備をするもの	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第66号	吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告を踏まえ、地方公務員法に基づき、規定の整備をするもの	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第67号	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 町長、副町長、教育長の期末手当を改定するもの	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第68号	吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 議会の議員の期末手当を改定するもの	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第69号	吉見町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 マイナンバー法に基づき、行政手続でマイナンバーを利用する事務を追加するため、規定の整備をするもの	P8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第70号	吉見町国民健康保険条例の一部を改正する条例 出産する被保険者に係る国民健康保険税の減額措置等について、所要の規定の整備を行うもの	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第71号	吉見町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 医療費助成支給対象者の住所地特例の範囲の拡大等、所要の規定の整備を行うもの	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第72号	請負変更契約の締結について 吉見町上水道黒岩配水場改修工事（配水ポンプ施設・次亜塩素酸注入施設）の工事内容に変更の必要が生じたもの	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発議第4号	令和5年度吉見町一般会計補正予算（第5号）修正動議 債務負担行為補正を削る（給食センター運営事業、限度額1億9710万円を削るもの）	P2・3	可決	●	●	●	●	×	●	×	×	×	●	●	●	●	議長
議案第73号	令和5年度吉見町一般会計補正予算（第5号）修正可決をされた部分を除いた予算 一般会計予算、歳入歳出それぞれ1億3524万3千円を増額する 主な歳入、新型コロナウイルスワクチン接種補助金・ふるさと納税寄付金 主な歳出、子ども医療費給付事業・子どもの居場所づくり事業など	P2・3	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第74号	令和5年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 130万9千円は特別交付金（電算委託料）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第75号	令和5年度吉見町介護保険特別会計補正予算（第2号） 18億9165万5千円	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第76号	令和5年度吉見町下水道事業特別会計補正予算（第3号） 4億2712万1千円 21万円増額↑ 職員労務管理事業費を追加したことによるもの	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第77号	令和5年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号） 4億1032万3千円 3億6448万円減額	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第78号	令和5年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算（第3号） 2399万6千円 4万円追加 職員労務管理事業費を追加によるもの	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第79号	令和5年度吉見町水道事業会計補正予算（第2号） 収益的収入 6億9280万2千円 収益的支出 6億6968万9千円 資本的収入 1億2809万6千円 資本的支出 4億6919万2千円	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

町長提出議案（追加）

議案第80号	吉見町事務手数料条例の一部を改正する条例 戸籍法の一部改正に伴い、戸籍電子証明書提供識別符号の発行手数料を定める等、所要の規定の整備を行うため改正	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
--------	--	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

令和6年 二十歳の集い

令和6年二十歳の集い（吉見町成人式）が1月7日、フレサ増の168人で、9年ぶりに増加しました。この集いは新成人が場者を受付するなど運営も担当しました。式典では新成人の原澄「困とコミュニケーションを多く取りながら生きていきたい」と、誓

新成人に未来への抱負や夢を聞きました。

- 「お母さんみたいな母親になりたい」(みなさん)
- 「公務員」(みくさん)
- 「立派な大人に」(ゆうかさん)
- 「コスプレイヤーで有名に」(うららさん)
- 「フレサを買収し、町を市にする」(かんなりさん)
- 「ラッパー」(むろさん)
- 「ラッパーで吉見に駅を作る」(りゅうくさん)
- 「消防長」(みやながさん)
- 「世界有数のプロゲイマー」(りゅうとさん)
- 「プロ野球選手」(らんさん)
- 「三十歳までにトラック5台所有」(りきさん)
- 「世界有数のプロゲイマー」(でがわさん)
- 「幸せに」(りょうまさん)
- 「銀行マン」(けんけんさん)
- 「オルビスでお客様に寄り添える美容部員に」(うららさん)
- 「災害派遣医療チームDMATになって災害現場で働く」(らむさん)
- 「保育士」(ゆきのさん)
- 「小児科の看護師」(さくらさん)



(吉見町成人式) インタビュー

よしみで開かれました。対象となった新成人は前年より23人
企画して開催され、当日は実行委員会メンバーがホール入口で来
流さんが実行委員会を代表し、「多様性を認める社会にあって、周
いのことばを述べました。

「親の美容室サロンを継ぐ」(たにしゅうさん)

「美容師」(れみかさん)

「安定した生活」(しゆさん)

「働かないこと」(いおりさん)

「人生楽しく」(たいがさん)

「休みは大事」(はたけやまさん)

「立派な大人」(のぐちさん)

「建築士」(まつもとさん)

「楽しくほどほどに」(しほさん)

「ドラマを作りたい」(こうきさん)

「安全第一」(たつやさん)

「楽しい人生を歩む」(たいせいさん)

「友達と楽しく過ごす」(はらさん)

「幼稚園の先生になりたい」(ゆかりさん)

中学三年時の恩師からの言葉

「大人になったね」(金子先生)

「楽しい人生を送ってください」(柳澤先生)

新成人の皆さんおめでとうございます。



小学校統合 新校舎建設の取組

期 日 令和5年10月24日(火)
視察場所 富山県魚津市

明日の吉見町を担う子どもたち、その子どもたち一人ひとりが、たくましく心豊かに成長することは私たちの願いです。少子高齢化の進行に伴い、児童生徒の教育環境の整備を図るという視点から学校規模の適正化に向けた取組が全国各地で行われています。吉見町においても、人口減少とともに、児童生徒数の減少も続いています。少子化に伴うさまざまな課題に対処するため、令和5年2月に、吉見町立小学校統合再編計画を策定し、町の将来を担う子どもたちのより良い教育環境の構築に向けた具体策を示しています。このような中、魚津市の子どもたちにより良い教育環境を整備することを目的に小学校の統合再編を実現するとともに、文部科学省の木の学校づくり先導事業による支援を受けた全国初のオール木造3階建て小学校の校舎を建設した魚津市の取組について視察しました。

小学校の統合再編と地元産の木材を使用して木の温もりに包まれた木造校舎は、木や自然への愛着とふるさとへの誇りを育む木育に力を入れている魚津市立星

の杜小学校を視察しました。

吉見町においても、少子化が進行する中で、学校のあるべき姿を見据え、町立小学校の統合再編計画が策定されました。魚津市が小学校統合時に実施した、児童、保護者、地域住民も含めた交流事業の取組は、今後、吉見町の質の高い教育を目指すうえで、大変重要であることを改めて感じた研修でした。



移動販売で買い物支援 見守り活動

期 日 令和5年10月25日(水)
視察場所 富山県黒部市

黒部市では、高齢化率が年々上昇傾向にあり、海沿いの漁師町である地区と山あいの地区で40%を超えています。このような中、令和5年1月に黒部市、移動販売事業者および黒部市社会福祉協議会の三者により要支援者への買い物支援および見守り活動等の連携協力に関する協定書を締結し、これに基づき、移動販売による買い物支援および見守り活動を実施しています。移動販売については、北陸大手の食品スーパーであるアルビス株式会社の店内で扱っている新鮮な魚、肉、野菜、果物などの生鮮食品および日常用品約1,200点を軽トラックに積み込み、曜日ごとに20か所程度の販売場所を巡回しています。見守り活動については、移動販売事業者から移動販売をする際に、何らかの異変を察知した場合には、市に連絡を入れることになっており、緊急を要する場合には、警察や消防に直接通報することになっています。商品の価格は売値に1品20円を加算し販売しており、移動販売車両に積み込んだ商品や車両の設営方法等実際に販売している

状況も視察しました。

吉見町においても身近な小売店の減少が続き、特に高齢者を中心に買い物に不便を感じている方が少なくないという現状があり、移動販売へのニーズは、確実に高まっていくことが推測されます。黒部市の移動販売における買い物支援や見守り活動に関する取組は、吉見町の移動販売事業を進めていくうえで、大変に有意義な研修でありました。



DXの取組 公共施設におけるキャッシュレス化

期 日 令和5年11月9日(木)
視察場所 福島県郡山市

住民に身近な行政を担う市町村の役割は極めて重要です。デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていくことが求められています。人口減少、少子高齢化など社会情勢の変化が想定される中、多様化する課題を解決する手段となりうるデジタル化の取組について、先進自治体である郡山市で視察研修を実施しました。

DX郡山推進計画では、てのひらの上のデジタル市役所をミッションに掲げ、オンライン行政手続きや電子決済、AI/*RPAを活用した業務の自動化や台帳の電子化を始め、87のアクションプランがあります。

キャッシュレス化については、2021年1月から35施設にキャッシュレス決済を導入し、公共施設の使用料や証明書等発行手数料が対象となっています。住民の利便性の向上や業務の効率化が期待できるため安定した運用を続けていくとのことでした。

今後も安定的な行政運営を確保し、地域サービスの

質を維持していくためには、行政手続きの電子化による業務効率の向上や民間活力と官民データの活用による地域課題の自発的解消の促進が重要であるとのことでした。

この他、活発な質疑応答がされ、視察研修を修了しました。

※RPA：パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術



防災対策 地域防災計画の見直しほか

期 日 令和5年11月10日(金)
視察場所 福島県郡山市

令和元年東日本台風(台風第19号)では、1都12県に大雨特別警報が出され、各地で大きな被害が発生し、吉見町でもレベル5の避難指示が発令され、9か所の指定避難所に2200人を超える町民が避難しました。郡山市は市街地の中央部分を国管理の阿武隈川やその支流が流れ、大雨の際には、内水氾濫および外水氾濫が発生するリスクを抱えています。住民や事業者を風水害から守るための対策に力を注いでいる先進自治体である郡山市への視察を実施しました。

市民の相互協力を重視して、共助の取組を推進しています。市内全域をカバーする42の自主防災組織があり、災害時には、情報収集伝達、避難誘導、避難所運営を担ってほしいと考えています。自主防災組織に対しては会員数に応じて、7万円～10万円の運営費補助も行っています。

また、防災士養成講座の実施に当たっては、自主防災組織に優先的に案内通知を出しています。

指定避難所は250か所、車中避難場所は39か所、8559台分を確保しているとのことでした。

このほかにも多岐にわたり詳細に説明を受け、活発な質疑応答がなされました。多くの資料と丁寧な説明をいただいた福島県郡山市の関係各位に心から感謝し、総務建設常任委員会の視察報告といたします。



町政に対する 一般質問

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。（持ち時間1人60分以内）

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を編集委員会で編集し、掲載しています。

1 福井 学 議員

P15

- 問1 吉見中学校の制服
問2 森林環境譲与税
その他の質問
外国人労働者と留学生の居住



6 大野 陽康 議員

P17

- 問1 高齢者福祉の取組（推進）
問2 特色ある学校教育活動の推進



2 小宮 榮 議員

P15

- 問1 学校給食センター調理業務等民間委託
問2 フレンドシップ・ハイツよしみの今後



7 宮尾 美千代 議員

P18

- 問1 国民健康保険の高額療養費
その他の質問
道路の整備
投票支援



3 吉田 克之 議員

P16

- 問1 遊休農地解消



8 新井 寛雄 議員

P18

- 問1 未来を担う若手町職員の研修
問2 高齢者世帯の非課税世帯ギリギリの収入世帯への支援
問3 森林環境譲与税
問4 通学路の管理



4 福田 妙子 議員

P16

- 問1 学校給食費の無償化
問2 学校給食センター調理業務等民間委託



9 伊藤 えりか 議員

P19

- 問1 障害者福祉



5 秋山 真美 議員

P17

- 問1 防災減災対策
その他の質問
子宮頸がん撲滅に向けた取り組み
ごみの減量化とリサイクル推進
公共施設への無料Wi-Fi設備の設置



10 杉田 しのぶ 議員

P19

- 問1 新ごみ処理施設でのごみ分別
その他の質問
戦争の悲惨さ、平和の尊さの継承に向けて
新たな子育て支援





子育て世帯の 支援必要では

【町の答え】
工夫していく

» 福井 学 議員

学校制服

問1 公正取引委員会は平成29年、公立中学の学校制服に関して、入札やコンペ方式を導入するよう、自治体の教育委員会に提言しているが。

答 公正取引委員会や文部科学省からの通知を受け、良質で安価な学用品等を保護者が購入できるよう、所管の学校における取組を促している。

問 吉見中学校の男子制服の価格はここ数年ほぼ変わらないが、女子制服は吉見中学校オリジナルのためメーカーと販売店が優位に価格設定し、競争が起きにくく、直近4年間で価格が1割上がった。結果として、女子制服は男子より最大15000円も高く、価格差が広がった。制服の全国平均価格は20年あまりにわたって上昇、さらに全国で生徒数が急激に減少しているなど、今後価格上昇の要因ばかり。体育着や上履き靴など学用品全般の価格、また修学旅行代金も上昇していることから、子育て世帯を支える手厚い支援が必要では。

答 教育委員会としっかり協議をしながら、保護者負担が軽減できるよう工夫していく。(町長答弁)

問2 国が配分する森林環境譲与税は間伐などの森林整備、林業の人材育成、公共施設での木材利用促進に限定される。町はどのように活用していくか。

答 今後、小学校統合再編事業が予定されるため、施設への木材利用や木質化に活用したい。

問3 増加が見込まれる外国人居住者とのゴミ出し、防災など課題を抱える自治会を支える考えは。

答 交流が進んでいる自治会の先行事例を広報誌等で紹介し、働く企業と情報共有を図るなどして、誰もが安心して暮らせる町となるよう進めたい。



令和7年4月から吉見中の学校制服が新しくなります



町民の声を聞け

【町の答え】
議会に報告している

» 令和の会 小宮 榮 議員

学校給食

問1 学校給食センターの調理業務等を民間委託にする理由は何か。

答 調理員等の職員の採用に苦慮している状況が続いており、将来にわたって安定した給食の提供を行う面で懸念がある。また、事務の効率化が必要などの課題もあることから、8月に民間委託基本方針を定め、今後この方針に基づき進めて行く。

問 町の子どもたちに吉見の人が調理をし、吉見産の食材を使用し、これまでどおりが一番良いのではないか。

答 調理業務などは体力のいる仕事。会計年度任用職員の半数が60歳代。今後体力の衰えや病気などを理由とした退職などの懸念がある。将来にわたって安定的な給食の提供を行うためには、民間委託が必要。

問 年齢の高い人の雇用を解除することを町が先頭に立って、行っていいのか。

答 現在勤めている方には、引き続き勤めていただきたい。

問2 フレンドシップ・ハイツよしみを解体するのか改修にするのか。町民の声を聞かないのか。

答 今後の施設の在り方を検討した結果、再生すると判断した。議会にも報告してきた。

問 国へ交付金を要望しているが、決まったのか。

答 まだ決定していない。

問 決定していないのに設計委託料4千万円もかけて大丈夫なのか。順序が違うのではないか。

答 無駄にならないように取り組んで行く。



改修費用に数億円を使っているのか



遊休農地の解消の 取り組みは

【町の答え】
関係機関と連携し取り組む

» 吉田 克之 議員

遊休農地解消

問1 町内の遊休農地、荒廃農地は農家の高齢化、新規就農者の減少で担い手不足が発生し、年々増加傾向にあるが遊休農地の発生状況と発生抑制、解消の取組は。

答 町内の遊休農地の発生状況は、令和5年4月現在、11haを確認している。

農業委員、農地利用最適化推進委員、町の農政担当課と連携し、地域の担い手へ農地中間管理事業を活用した農地の集積、集約化を推進して遊休農地の発生抑制を行っている。

また解消の取組は、農業委員会で毎年1回農地パトロールを行い、農地利用の調査を行っている。

現在、農地面積1430haに対して675ha、約47%の集積があり、また久保田地区の農業振興地域内では20筆、4018㎡の大規模な遊休農地の整備計画が進められ、農地として活用する取り組みを行っている。

農業の振興だけでなく、町の景観、環境を守るため関係機関と連携し取り組んでいく。

耕作できない農地、 何とかしなければ



久保田地内の遊休農地の解消

給食費無償化の 早期決定を

【町の答え】
引き続き保護者負担

» 日本共産党 福田 妙子 議員



学校給食

問1 物価高騰対策や子育て支援策として各自治体で学校給食費の無償化への取組が進んでいるが、町の考えは。

答 子育て支援策として、県内の一部の自治体で給食の無償化、あるいは一部無償化を実施していることも把握している。町は、就学援助制度の適切な対応を奨励しながら、学校給食法第11条第2項に基づき、食料費の負担については、引き続き保護者をお願いしたい。

問 給食無償化を求める署名を集め、先日宮崎町長に町民の願いを届け、無償化をお願いしたが、学びを支える教科書無償化、同様に命を支える給食費無償化と考えられる。教科書が無償であると同じように、食育という観点から給食が無償であると思われるが。

答 現在、小学校が月額4000円、中学校が月額4900円の給食費を保護者に負担頂いているが、近年物価高騰等を理由に給食費の値上げをする所もあるが、町は引き続き同額で実施していく。

また、就学援助制度を活用した支援を引き続き実施していく。

問2 学校給食センター調理業務等民間委託を見直しての声が高まっているが、調理業務の方は、児童生徒の命を支える仕事にやりがいと誇りを持って取り組み、現在滞りなく運営されていると言っているが、民間委託後は。

答 令和6年4月以降とするが、会計年度任用職員の現在ある条件を続けていく。



給食センターのゆくえは

マイタイムラインの推進を



【町の答え】
重要性を周知していく

≫ 公明党 秋山 真美 議員

防災減災

問1 北本市への広域避難訓練から得たものは。

答 令和3年7月に北本市と「洪水時等における広域避難に関する協定」を締結したことを契機として同市との連携による避難訓練の実施を検討してきた。令和5年7月23日、北本市内の旧小学校の体育館を会場として実施され、荒川に近い東第二地区の行政区を中心とした地域住民、北本市職員、吉見町職員53名が参加した。防災に関する知識や経験を有する方が、地域に1人でも多くいることが地域防災力の向上につながるということに改めて認識した。

問 逃げるタイミングを逃さないために有効なマイタイムライン作成の推進を。

答 令和5年開催の自主防災組織リーダー養成講座で作成をメインに実施した。今後も事前対策としての重要性を周知していく。

問 以前から提案している防災士の資格取得に金銭的支援を行い、地域の防災力向上を目指す考えは。

答 防災士は様々な場面で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な知識と技能を習得したことを日本防災士機構が認定したものを。資格取得支援の声があがるようであれば具体的支援策を検討する。

問 車中泊体験イベントを実施する考えは。

答 風水害時の分散避難の必要性やその一つとして車中避難も啓発している。混乱なくスムーズに行われるよう、注意事項を住民に広く周知・啓発する必要がある。今後、防災イベント等を開催する際は、車中避難体験ブース設置など検討する。



自助共助の取組主体となる地域住民を中心とした訓練

高齢者福祉の現状と課題は



【町の答え】高まる高齢化率
安心できる生活環境を整えていく

≫ 大野 陽康 議員

高齢者福祉

問1 町では「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定し、その取組を進めているが、今年度はその見直しを行うことになっている。現時点で明らかになっている現状と課題は。

答 町の高齢化率が全国平均を上回っている現状から、高齢者の福祉ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な施策を展開し、高齢者が安心できる生活環境をいかに整えていくかが課題となっている。

問2 今年度開催の敬老会式典への出席率と来年度以降の開催に向けて考えていることは。

答 出席者は171人で出席率5.0%。前回令和元年度のそれぞれ475人、16.3%と比較して大きく減少している。式典やアトラクション内容の見直しなどを検討するとともに、シニアクラブの意見を聞きながら、社会福祉協議会を中心に検討していく。

問3 特色ある学校教育活動を推進するにあたり、特に重点的に取り組んできたことは。

答 学校が地域や児童生徒の実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動が展開できるよう教職員の適切な配置、予算の確保、施設・設備の管理等に取り組み、児童生徒がよりよい学習環境で学習及び生活ができるよう努めている。



「吉見町敬老会」 令和5年9月18日(月)開催 於：町民会館(フレサよしみ)



手続きの簡素化を

【町の答え】
要綱が整い次第開始

≫ 公明党 宮尾 美千代 議員

高額医療費申請

問1 国民健康保険の高額療養費制度対象者は毎月申請を行わなければ、継続的に制度の支給が受けられない償還払となっている。年齢にかかわらず一度申請すれば、それ以降は申請なしで高額療養費制度の支給が継続的に受けられるよう、申請を簡素化する考えは。

答 高額療養費制度とは同一月に高額な医療費の自己負担が必要となった際に、限度額を超えた分について払い戻しを受けられる制度。年齢や所得によって異なる。高額療養費申請手続きを簡素化した場合初回のみ専用の申請書で口座を登録することで、高額療養費の支給対象となった月は、申請することなく登録口座に振り込む。簡素化の導入は、メリット、デメリットの両面を踏まえ検討中。

問 申請は対象者全員からされているのか。

答 申請者全員ではない。少額な方などが中心と考えるが未申請な方がいる。

問 簡素化により負担軽減につながると考えるが。

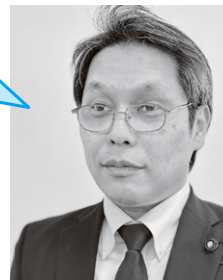
答 被保険者にとって対象月ごとに申請する負担が軽減され申請漏れによる不利益がなくなる。町にとっては、申請の勧奨や申請受付業務がなくなり、申請に係る業務負担が軽減される。

問 取り組みを進めているとのこと、いつごろから簡素化になるのか。

答 基本となる要綱の整備を進めている。整い次第開始予定。周知は広報へ掲載予定。



高額医療費申請は初回のみ



若手町職員の研修は

【町の答え】
県へ派遣している

≫ 令和の会 新井 寛雄 議員

職員研修

問1 若手町職員の研修は。

答 将来の町の実務に生かすことを目的とし、埼玉県東松山県土整備事務所、埼玉県企画財政部地域政策課等へ実務研修派遣を行って高度な行政経営を支える職員の能力向上の取組を進めている。

問2 高齢者の非課税ギリギリの世帯に支援は。

答 高齢者世帯に対する支援は、世帯の経済状況を問わず重要である。町独自の施策は現在ないが、国の施策に迅速に対応し、該当する世帯へ速やかに給付できるようさまざまな施策に取り組んでいく。

問3 来年度から国税として1人年額1000円を市町村が賦課される森林環境譲与税の用途は。

答 全額が森林環境譲与税として都道府県・市町村へ譲与される。森林整備等が喫緊の課題であることを踏まえ、令和元年度から前倒しで譲与されており吉見町森林環境譲与税基金を設置し、公共施設の木質化などに活用している。小学校統合再編事業が予定されており、施設への木材利用や木質化に活用するため、令和3年度以降は基金に積み立てている。

問4 通学路の管理上、夏場の雑草繁茂などの対応は。

答 第5期埼玉県通学路整備計画に基づき、また、学校や関係者の協力をいただきながら、通学路の安全対策に取り組んでいる。費用が増加傾向にあり、職員により定期的に雑草の刈払いを実施しているが、地域の協力が必要不可欠である。引き続き地域と町で連携を図りながら、通学路の安全対策に取り組んでいく。



身近にある緑を大切に吉見町の住環境を守っていきましょう

障害福祉の現状は

【町の答え】

ニーズの多様化

» 伊藤 えりか 議員



障害福祉

問1 吉見町障害福祉計画(第6期)と吉見町障害児福祉計画(第2期)の現状と課題は。

答 町では計画に基づきさまざまな事業に取り組んでおり、特に居宅介護や就労移行支援、障がい児であれば放課後デイサービスなどの利用が増えている。課題は、介護者や保護者が急病など不測の事態により、在宅で生活する障がいのある人が必要な介護を受けることが出来なくなった場合の緊急時対応や就労支援ニーズの多様化に伴う支援事業所の不足などが考えられる。

問 特別支援学校卒業後や障がい者の一般就労、就労移行に対する取組の現状と課題は。

答 比企管内8市町村で構成される自立支援協議会の障害者就労支援連絡会で調整を行うなど、就労機会の提供や障害福祉サービスの利用に関する支援体制の構築に広域で取り組んでいる。課題は、就労系障害福祉サービスを利用する場合、町内の事業所では、本人が希望する作業所が見つからないなど、選択の幅が限られてしまうことが考えられる。

問 障害がある子のために大事なことを書き残す、親目線のエンディングノートの活用が増えてきているが、町が作成する考えは。

答 「親亡きあと」の暮らしをいかに支えいくか、家族の思いを支援者にどのようにつなぐかなど、これらを書き残すノートは、重要であると考えられることから、まずは「親目線のエンディングノート」を既に作成している自治体の取組内容等を調査していく。

住民にとっての

バリアフリーな町を目指して！



可燃ごみ減量に向け再資源化を

【町の答え】

組合、構成市と協議

» 杉田 しのぶ 議員



新ごみ処理施設

問 紙おむつ、生ごみ、剪定枝の再資源化の委託は、構成市町で協議される。これらのごみは、水分を多く含むため燃えにくく、焼却炉を傷める要因にもなり、維持管理費もかさむ。資源として活用されれば燃やすごみの減量ができ、環境負荷の低減も図られ、施設規模が縮小されることで1トンあたり1億円と言われている建設コストの削減にもつながる。資源化の活用事例も多くある中、新ごみ処理施設建設に向けて積極的に取り入れていくべきと考えるが、町の考えは。

答 可燃ごみの減量は、分別の徹底と再資源化の推進が必要と認識しており、費用負担の軽減、脱炭素化の推進につながるため引き続き取り組む。なお、紙おむつ、生ごみなどの再資源化は費用がかかり、安定した受け入れ先の確保などの課題があるため、引き続き組合を中心に構成市と協議していく。

問 大人100人分の紙おむつを再資源化すると温室効果ガスが1年間で87%減少し、2トンのごみ収集車23台分が減り、100本分の森林資源を使わずに済むという調査結果がある。環境省も交付金を始め導入支援メニューも用意し積極的に推進している。剪定枝は、破砕機の貸し出しを行いウッドチップ化して土と混ぜて土壌改良したり、雑草対策として植え込みに撒いたりして活用されている。生ごみはバイオメタン発酵や堆肥化の事例も多くある。これらの情報収集、情報共有をし、十分な協議を求める。

答 中部環境保全組合を中心に構成市と情報収集および情報共有しながら協議していく。





表紙の写真によせて

紅葉シーズン最盛期だった令和5年11月26日、「ヒーリングナイト」が4年ぶりに吉見観音で開催されました。下写真はその際、真言宗智山派の皆さんによる奉納雅楽演奏の様子です。同じ日の午前には、その同じ境内でこども食堂が開かれ、焼き芋をほおばる子どもたちの笑顔と歓声が境内に満ち溢れました。表紙の写真はその際の一コマです。吉見町でこども食堂など子育て支援に取り組む民間団体は2つ、子どもの学習支援に取り組む民間団体が1つ。新型コロナウイルス感染症、物価高騰を背景に、そうした支援を求める人は依然として多く、ボランティアをはじめ支援者の輪も広がりを見せています。（福井）



表紙の写真を募集中!!



『よしみぎかい』表紙に町民の皆様からの、見ている人も笑顔になれる、笑顔の写真を募集します。災害をはじめ悲しい報道があるなか、笑顔になれる議会広報でありたいという願いからです。

吉見町在住、在学、吉見町で働く方であれば、個人、団体は問いませんし、掲載には匿名でも構いません。詳しくは隣の二次元コードをスマートフォンのカメラで読み取って、送信ください。

お待ちしております。



編集後記

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表し、ご遺族と被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

昨年はコロナ禍も落ち着き、町ではイベントも数多く行われ、活気を取り戻してまいりました。今年も皆様のご健康で、元気あふれるまちになりますようご祈念申し上げます。

編集委員会では、広報研修会で指導を受けながら皆様に分かりやすい議会だよりにするため、レイアウトや見出しを変更し、読みやすい紙面づくりに努めました。皆様のご意見ご感想をお待ちしています。（吉田）

議会だより編集特別委員会

委員長	杉田しのぶ
副委員長	福井学
委員	吉田克之
委員	福田妙子
委員	伊藤えりか
相談役(議長)	神田隆

この議会だよりは再生紙を使用しています。